

医療法人 福泉会 多機能型施設 えいる 放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対して適切なスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人員基準の配置は満たしているが、利用者様一人一人に対して手厚い支援を行うためには、適切とは言えないように感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設全体でバリアフリー化の配慮を適切に行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		PDCAサイクルの理解と活用に関して職員間で個人差がある為、研修等を行い、職員全員で参画できる体制を作っていく必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方々から頂いたご意見やアドバイスを今後の業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	急務検討すべき事案である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回以上の内部研修実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントと課題分析に基づいて計画を作成している。その後、モニタリングやアンケートの実施結果を計画に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所にて使用しているソフトのアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの固定化がみられている為、再度内容を見直し、チームで話し合うだけでなく、他事業所等からの情報も活用していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇に応じて課題設定できていない。今後は細かい設定を行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			それぞれの状態に応じた個別活動を主として、他の利用者様との関わりを持てるような集団活動も実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			送迎の兼ね合い等もあり、当日の利用者様の状況や役割についてや支援の振り返りについて、書面にて情報共有を行っていた。今後は更に細かくミーティングを行い情報共有できる体制を作っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援に関して、サービス提供記録や日誌に記録し、状態の把握や今後の対応につなげている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回モニタリングを行い必要に応じて見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		ガイドラインに基づき、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動などの支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には、日々の様子だけでなく、本人のサービス等の状況を把握した最もふさわしいものが参画するようにしているが、開催の日時や職員の状況によっては必ずしも出来ているとは言えない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時の情報交換だけでなく、支援の引き継ぎや本人の状況変化に伴う会議の参加等、適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			利用前に必ず保護者や相談支援専門員、SWと話し合い、連絡体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		該当ケースが少ないが、児童発達支援事業所等と情報共有できるように体制を作っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			多機能型施設の為、放デイから生活に移行しており、実績あり。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在実施できていない。 今後行って行く方向で検討している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			本人の状態や、ご家族の状況により異なるが、共通理解できるよう保護者との情報共有に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者から相談を受けた場合だけでなく、こちらからも積極的にご本人の支援に関する情報根幹等を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定や利用者負担については契約時に説明。支援の内容は、計画の立案時、変更時にその都度説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は、その都度職員間で話し合い、助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナの影響もあり、現在は中止している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口の設置、苦情解決担当者や苦情解決責任者を定め、苦情解決に当たっている。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページにブログを開設し行事等の様子を閲覧できるように行っている。今後も発行していく予定。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いに関して保護者と事前に話し合ったうえで適切に行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		障がいのある子どもや保護者に対して、それぞれの状態を把握し、その時々状況に応じて配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	保護者やご本人の意向を確認しながら、今後検討していく予定。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを策定し、職員には周知出来ている。保護者に対しては契約時に説明は行っているが、細かい内容まで伝達できていない為、送迎等で会う機会に説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		非常時の訓練を定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に研修や会議等を開催し、職員全体で虐待防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		止むを得ない場合の身体拘束について、研修等を行い職員全体で周知している。実際に行う場合もチームで話し合い、保護者に十分な説明を行い、同意書にて了解を得て、その旨を計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		利用前に保護者に必ず確認し、適切に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例の作成や活用を行っているが、十分とはいえない。